

豚コレラ及びアフリカ豚コレラの 特定症状について

岐阜県及び愛知県の豚コレラ発生農場のうち、3月下旬以降に発生した農場では、異常豚発見の通報があった時点で既に農場へウイルスが侵入してから2週間以上経過していたことが示唆されています。

このことから、家畜に豚コレラ・アフリカ豚コレラを疑う症状を発見した場合は、すぐに家畜保健衛生所に連絡してください！！

豚コレラ・アフリカ豚コレラの特定症状

1. 耳翼、下腹部、四肢等に紫斑（チアノーゼ）がある。
2. 同一豚舎内において、以下のいずれかの症状を示す豚等が定期（概ね一週間程度）に増加している。（ただし、農場に浸潤している他疾病によるものであることが明らかな場合等は除く。）
 - ①摂氏40度以上の発熱、元気消失、食欲減退
 - ②便秘、下痢
 - ③結膜炎（目やに）
 - ④歩行困難、後躯麻痺、けいれん
 - ⑤削瘦、被毛粗剛、発育不良（いわゆる「ひね豚」）
 - ⑥流死産等の異常産の発生
 - ⑦血液凝固不全に起因した皮下出血、皮膚紅斑、天然孔からの出血、血便
3. 同一豚舎内において、一定期間（概ね一週間程度）に複数の繁殖豚または肥育豚等が突然死亡する。

最上家畜保健衛生所 電話：0233-29-1357
（休日・夜間も対応）

ゴールデンウィーク中も電話つながります